

令和7年度業務執行報告

[令和8年6月1日HP掲載]

I、法人運営の概要

II、事業執行の内容

- ・教育目標及び基本姿勢
- ・当該年度の事業概要
- ・事業の目的計画と実施
- ・実施計画の進捗状況等
- ・認定こども園事業
- ・職員研修（園内、園外）
- ・情報発信の状況

III、学校評価について

- ・学校関係者評価の内容
- ・保護者アンケートの結果について

IV、財務状況の内容

学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

令和7年度・事業報告書

I 法人の概要

- 1、法人名： 学校法人内丸学園
 2、理事長： 坂本 洋
 3、住所： 岩手県盛岡市中央通1丁目6-47
 電話：019-622-2301 Fax: 019-622-1819

4、設置する学校

- 名称： 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園
 認定こども園（認定月日：平成19年2月27日）
 類型：・幼稚園型（当初は認可外保育施設併設）
 ・幼保連携型（平成22年4月1日認定）変更
 ・ // （平成27年4月1日新制度移行）

備考：22年度から0歳児～2歳児は保育所認可【定員21名】、23年度【定員30名】となる。平成27年4月1日から子ども・子育て支援新制度により、従来の幼稚園・保育園が単一施設となり、3号子ども定員30人から42人へ変更。幼稚園教育部分は4学級105人。内訳1号子ども定員45人、2号子ども60人へ変更。合計：147人。令和2年度から3歳以上児の定員変更：1号子ども30名。2号子ども75名とする。令和7年度も上記の定員変更のままで運営。

5、学級編成と定員並びに実績（認定こども園定員：147名）令和8年3月1日現在

項	5歳児学級	4歳児学級	3歳児学級	計
定員	1学級	1学級	2学級	4学級
	35名	35名	35名	105名
令和7年度実績	1学級	1学級	2学級	4学級
	29名	28名	29名(満3歳0名)	86名
	保育【0歳～2歳定員42名】0歳9名、1歳16名、2歳18名			43名

129名

6、認定こども園受入れ実績状況（認定こども園定員：147名）令和8年3月1日現在

入園対象の認定	3～5歳児(満3含)	0～2歳児	計
1号	13名		13名
2号	73名		73名
3号		43名	43名
計	86名	43名	129名

7、法人役員・教職員の概要

理事 7名：理事長1名、理事長代行者1名、理事他5名

(理事長：坂本洋、理事長代行者：松本静毅、理事：津川哲二、荒木田一男、関 雅彦、中原陽子、坂本信行)

評議員 10名：寄附行為31条(1) 2名、31条(2) 2名、31条(3) 6名

開催内容：理事会 5回、評議員会 3回、監査会・外部 2回、法人監事 2回 計 4回

理事会	① 5月31日、②8月27日、③12月22日、④1月31日、⑤3月25日
評議員会	① 5月31日、②1月31日、③3月25日
監査会	① 5月13日、②5月19日(法人)、③1月30日、④2月5日(法人)

学校関係者評価委員会：年1回(令和8年3月19日) 評価内容は別添(P.10)のとおり。

苦情解決第三者委員会：年1回(令和8年3月19日) ”

教職員 31名：園長1名、副園長1名、主幹保育教諭1名、指導保育教諭4名、
保育教諭10名、保育教諭(非) 7名、看護師(非) 1名
栄養教諭1名、栄養士1名、調理師1名、調理補助 1名
事務職員2名、

II 事業執行の概要

1、教育目標及び基本姿勢

(1) 教育目標

生命力にあふれる子ども達が、愛情と活力と創造に満ちた生活をめざし、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験が得られるよう教育環境を整え、一人ひとりの心情・意欲・態度の発達を養い、基礎的人間性の土台となる、生きる力や心の教育の育成を目標とする。

また、東日本大震災による被害状況が、かつて経験したことのない甚大な被災となり、これまでの危機管理対応を根幹から見直すこととなり、かけがえのない子ども達一人ひとりの命の大切さを改めて教育の根底に据え、安心安全な環境づくりに努めること。

(2) めざす子ども像

園訓： つねによろこぶべし(いつもにこにこ)

- 健康でたくましい子ども
- よく聞きわかり行動する子ども
- すなおに感じ豊かに表現する子ども
- 心身ともに安定した生活を送れる子ども
- 神と人ともに喜ばれる子ども

(3) めざす教師の役割像

- 幼児一人ひとりが、より豊かに遊び、学ぶ生活を過ごせるよう援助する
- 集団生活の中で生きる力、喜びの広がりが育つ環境づくりに配慮する
- 自律と協同の育ちに配慮し、協同的な遊びや学びの環境構成を工夫する
- 総合的な教育と保育の一貫した幼児教育の保育計画づくりに配慮する

(4) 教育目標達成のための基本姿勢

- 型にはめない自由な個性の伸長 (個性重視)
- 遊びの十分な保障と充実感 (満足感と承認充足)
- 感性や情緒性豊かな環境づくり (夢のある環境)
- 愛情に満ちた子どもとのかかわり (愛着心の育成)
- 善悪の判断基準の適切な指示 (社会行動規範の明示)

2、当該年度の事業概要

運営基本方針に基づき、教育目標の達成に努め個性豊かな教育・保育の実現に努力しております。特に「こども家庭庁」創設による幼保一元化に伴う訂教育・保育要領に基づく教育指導計画の実施は、本年も引き続き幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を意識し、0歳児から5歳児までの全体指導計画を作成する中で園内・園外研修で培った内容を教職員全員で共通理解を深め実践に生かすことに努めました。

なお本年も当法人の幼保連携型認定こども園・盛岡幼稚園運営方針にある乳幼児に豊かな体験が得られるように教育・保育の環境を整えることにより、園児の更なる活発な活動が観察された。

感染症拡大予防対策改正の5類移行に伴うコロナ禍対応はマニュアル徹底に努め、日々の健康観察、保育室や遊具の消毒などを徹底しながら、集団感染予防に努めた。子ども達も手指消毒、手洗いうがい等、基本的な生活習慣を継続している。

運動会や保護者参観、作品展示、クリスマス会等は内容を工夫しながら、保護者が参観できる機会を増やし、園の教育・保育活動への理解となるよう継続している。

また専門性資質向上の職員研修の充実を図り、かつ小学校教育への架け橋プログラムのため仁王小学校教諭のほか、7年度は桜城小学校、杜陵小学校とも連絡会を行った。また、令和3年以降に岩手県庁内保育施設・うちまる保育園(小規模事業所内保育事業)開設に伴う連携施設として覚書締結による交流は継続して行われている。

◎ (主な行事等)

4月：始業式、第118回入園式、こいのぼり掲揚式 5月：避難訓練、健康診断、タッピングの畑、ふたば会総会 6月：歯科検診並びに健康診断、花の日礼拝、保育参観と懇談会、プラネタリウム見学、卒園生の集い 7月：薬剤師検査、七夕、プール遊び、お楽しみ会、夏季保育開始 8月：夏休み、第二学期始業式 9月：シェイクアウト避難訓練、運動会、歩き遠足 10月：作品展 タッピングの畑芋ほり、内科健診、(保)保育参加 11月：収穫感謝礼拝、焼き芋会、トトロランド、小学校体験学習、保育参観 12月：防犯訓練、郵便局イベント参加、クリスマス礼拝、冬休み、1月：始業式、観劇・劇団クスクス、2月：保育参観・懇談会、3月：親子茶会、お別れ会、修業式、第118回卒業証書授与式、卒園を祝う会

(各月避難訓練・誕生会実施。誕生会の出し物では各学年による発表の場を設けている)

◎【1号認定・2号認定園児数状況】

3月末在籍：86、卒・退園児数：29、在籍園児数：57(A)

3月末入園申込み数：26、新入園児数：26(B)

次年度期首数(A+B)：83名

◎【3号認定園児数状況】

3月末在籍：43、卒・退園児数：18、在籍園児数：25(A)

3月末入園申込み数：17、新入園児数：17(B)

次年度期首数(A+B)：42名

◎ 幼保連携型認定こども園・盛岡幼稚園：次年度期首合計数：125名

3、事業の目的計画と実施

幼児教育の専門性資質向上及び幼児一人ひとりの育ちを保障する保育理念のもとに、ふさわしい教育環境をもって、幼児の心身の発達に応じた豊かな体験と感動に満ちた教育活動を計画立案し、加えて幼保一体化の認定こども園事業を積極的に取り入れた運営を実施した。創立115周年の記念事業実施の完成により、より充実した環境整備となり、創立時の建学の理念を振り返る機会を意識して、園児と共により多くの諸行事を実施した。

◎ 質の豊かな食育・給食提供のため、3号児への自園給食調理機能の充実を基本とし、1号、2号児への完全給食提供のため給食調理室稼働の充実を図り、園児への食育指導の計画案を作成し実施した。

◎ 個別的配慮を要する園児はここ数年で増加傾向にあるが、健常児の中で持てる能力の成長に留意し、個々の支援計画を作成し職員の共通理解を深めている。療育センター等関係機関との支援のもと丁寧な関わりに努めた。また園内研修で特別支援の共通理解に努めクラス担任の他に補助教諭を配置し、合理的配慮を要する子どもの指導にあたった。

◎ なお、教育課程外の預かり保育（家庭部保育）は、認定こども園事業実施の中で継続して実施している。詳細利用実績は下記記載5、の通り。

◎ 新制度移行の当園の経過は、認定こども園として、平成19年2月27日付けで岩手県第一号の認定。当初は幼稚園型であったが、平成22年4月からは、認可保育園として、0歳児を加え認可保育事業として実施している。また子ども子育て支援新制度以降は、改めて幼保連携型認定こども園として、単一施設としての『盛岡幼稚園』を更に前進させている。

◎ 7年度の3号認定児の入園受け入れ実績は、令和7年4月初日在籍42名(0歳児：6名、1歳児：18名、2歳児：18名)と定員状況。令和8年3月には、在籍数43名(0歳児：9名、1歳児：16名、2歳児：18名)と定員(42名)を上まわる在籍数で、特に0歳児は昨年同様に6名定員のところ9名在籍となった。これは入園許可認定を行う盛岡市福祉行政当局から待機児童解消のための要請によるものです。

4、事業実施計画の進捗状況等

計画された教育・保育活動は、感染症拡大予防対策改正の5類移行に伴うコロナ禍対応の徹底に努め年度計画所期の目的を達成するよう目指し、個人の発達に応じた生きる力や心の教育の育成並びに保育養護の向上に貢献した。

特に教職員の自己点検意識が高まり、客観的に自らの指導計画や子どもに向き合う姿勢

並びに教職員集団の力として、昨年に引き続き園内研修実施等がより発揮できる体制の確立となっている。

なお、東日本大震災以来、危機管理対応の見直しを行い、また感染症予防のマニュアルの徹底等により3密回避による教育活動内容や、保護者参観等の見直しを図り、子ども主体優先の行事となるよう実施。このことは保護者へも伝え共通理解を深め、ご協力・情報の共有に努めている。

- ◎ 教育実施日数：年少クラス、年中クラス、年長クラス 41週
3歳児（193日）、4歳児（194日）5歳児（197日）
- ◎ 保育実施日数：・0歳児～2歳児 293日 ・3歳児～5歳児 293日

5、認定こども園保育事業（預かり保育）

（1）預かり保育推進事業の実績数

	満3歳児	3歳	4歳	5歳	計
2号認定利用児	0	25	25	23	73
1号認定利用児	0	2	0	0	2

3歳児から5歳児の1か月平均利用は75名（昨年74名）その内1号認定児は2名。2号認定児は標準時間利用児が73名で、うち2名が短時間利用児だった。また臨時で保育を利用した子は月平均1名ほどいた。

預かり保育の1号・2号児の保育指導状況は、臨時の預かり保育利用児を含め、3歳児、4歳児、5歳児とも各年齢児の担当職員が把握し保育にあたる。

特に5歳年長児は午後保育中の午睡を柔軟に取り入れた保育を行うこととし、幼小接続を意識したアプローチカリキュラムを考慮した教育・保育活動を行った。また、早朝と延長保育は異年齢合同保育として行っている。

また、土曜日保育利用は2号・3号児で、年利用実績646人、月平均54人、週平均13人で異年齢合同の処遇としている。（3号児の保育は、別室の別処遇である）

- ◎ 子育て支援事業（にこにこプレイルーム）：週1回程度、年間開催回数22回。

登録者数：14名。年間延べ33組の利用。一回平均参加者数2組（昨年3.4組）

【親子参加、費用無料、前日までの申込み】

*令和6年度までの「トトロハウス」より名称を変更し実施。

（2）子育て相談事業：相談件数は106件（昨年82件）、一般（子育て支援事業参加者）：2件（昨年0件）、園児（保護者）：104件。相談者の殆どが母親であるが父親5件、両親3件と、父親が相談してくるケースも年々見られるようになってきた。

・相談内容：しつけ・育児が33件(31%)、排便排尿が11件(10%)、発達・障害12件(11%)、食事15件(14%)、友達とのトラブル9件(8%)、その他12件(11%)の内容であった。自己主張、わがままや癩癩、就学に向けての相談などについてが多かった。

・相談対応：面談での相談が多く、助言指導が7割で3割は継続して見守りが必要なケースだった

*助言指導75件(70%)、継続観察30件(28%)専門機関紹介1件(昨年0.9%)

令和7年度 園内研修実績

*研究テーマ

『育ちの連続性を踏まえた指導計画と、遊びが深まる環境構成』

日程	内容		記録
4月23日(水) 14時～	・昨年度の園内研修の振り返りと今年度のテーマについて ・今年度の計画について		新沼
5月20日(火)	・気になる子どもや、合理的配慮が必要な子について ・個別の支援計画について 【特別支援・教育相談係】		古館
6月19日(火)	<指導計画> 月のねらいの見直し	<遊びの環境構成> 砂遊び・水遊びの環境	竹岡
7月24日(木)	☆幼児教育専門員訪問支援事業 *園内公開保育 保育参観(0・1・2歳児クラス)とカンファレンス		由紀乃
8月26日(火)	年間指導計画の見直し (教育・養護の記号統一など)	砂遊び・水遊びの環境構成 に対する評価	綾
9月30日(火)	(I期～V期の区切りなど)	学年、発達に即した教材研究 制作遊びの環境	瀧山
11月5日(水)	(内容の見直しなど)	ごっこ遊びの環境構成	湯川
12月3日(水)	(集約し、A4にまとめる)	ごっこ遊びの環境構成に対する評 価と、遊びが深まる環境について	相原
12月23日(火)	・グループごとに研究成果発表 ・研究のまとめ		面来
1月14日(水)	☆ECEQ 公開保育について 聖パウロ幼稚園園長 坂水かよ先生の講義		純礼
2月5日(木)	・気になる子どもや、合理的配慮が必要な子どもについて 【特別支援・教育相談係】		林崎
3月	・まとめ ・次年度に向けて		研修担当

※日程は、行事の関係等で変更あり。 ※外部研修報告は、復命書回覧にて行う。

【非常勤職員の研修】

- ① 6月4日(水) …合理的配慮を要する子について
- ② 12月24日(水) …不適切保育について、園内研修の内容や経過を共通理解する
- ③ 2月26日(木) …合理的配慮を要する子のその後の経過、ECEQ 公開保育について

○この他にも職員間で話し合いの機会を設け、研修の機会とする。

- ・行事や保育活動の検討
- ・年間指導計画、月案、週案の検討
- ・個別支援計画、個人記録、学級経営案
- ・学期毎の反省と評価

日程	研修会（主催者）	研修内容
5.10	○令和7年度保育研究大会盛岡大会 （盛岡市保育所協議会主催）	・研究発表「多様な連携と協働をつくる」
5.13	○令和7年度幼児教育中核リーダー養成研修 講座Ⅰ（いわて幼児教育センター主催）	・岩大附属幼稚園保育参観 ・講義と演習「幼児教育・保育の今日的課題」等
5.28	□令和7年度保育所・幼稚園・小学校交流 研修会（盛岡市教育委員会主催）	・事例発表 盛岡市立好摩幼稚園 ・分散会協議
6.6	○令和7年度岩手県園長等運営管理研究協 議会（岩手県教育委員会主催）	・講義「園におけるカリキュラム・マネジメント」 ・講義「園職員のメンタルヘルス」等
6.7	○令和7年度第1回新任・中堅教諭研修会 （県私幼こ連合会主催）	・講演「幼児教育の役割と質を考える」 ・講演「障がいの理解」
6.13	□仁王小学校 学校公開研究会	・各学級の公開授業 1年生
6.28	○令和7年度第3回新任・中堅教諭研修会	・講演「栄養に関する知識・子どもの健康と食生活」 ・講演「乳児保育の環境『うたえほん』」
7.4	○令和7年度盛岡市保育所協議会公開保育	・公開保育 津志田つばさ園 お楽しみ七夕会
7.4～7.5	○岩手県保育者等キャリアアップ研修 【乳児保育15H】	・講義「乳児の発達に応じた保育内容」 ・講義「乳児保育の環境」等
7.9 7.10	◎令和7年度発達支援研修会（Zoom）	・講座「食事の相談で出会う子ども達について」 ・講座「気になる子どもの見立てと支援」
7.11	○盛岡市保育所協議会第1回テーマ別研修 【乳児保育2H】	・講演「親子の自己肯定感を育むためにできること」
7.16～18	○令和7年度幼稚園等中堅教諭等資質向上 研修講座	・講義「幼稚園等中堅教諭等に望むこと」 ・講義「幼児期の教育の現状と課題」等
7.18	○令和7年度盛岡市保育所協議会公開保育	・公開保育 ニチイキッズ仙北駅保育園 「おもいっきり夏祭り」
7.19	○盛岡市保育所協議会キャリアアップ研修 【子育て支援・保護者支援】	・講義「依存は子どものSOS～子どもを『知る』ことから 始まる支援～」
7.28	○令和7年度第1回教員研修会	・講演「発達障害の理解とその支援」 ・講演「アレルギー疾患の理解と対応について」 ・講演「心を豊かにする幼児への適切な関わり」
7.31	□幼・保・小の接続を意識した幼児教育講座 （盛岡市教育委員会主催）	・講義「教育界の話題・現状・課題」 ・講義「幼児教育アドバイザーについて」等
8.8	◎盛岡市保育所協議会第2回テーマ別研修 【障がい児保育2H】	・講演「多様な子どもたちの発達支援」
8.9	○岩手県私立保育園連盟 処遇改善研修会	・講演「新しい処遇改善制度の留意点」
8.22	◎盛岡市保育所協議会 子育て講演会	・講演「保育者のための発達支援講演会」

8.29	○第1回経営セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「経営視点で見る子ども誰でも通園制度」 ・講演「義務化が見込まれるBCP作成の視点」
8.29	◎令和7年度幼児教育スキルアップ協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「発達を意識した乳幼児保育の在り方」 ・講演「園内の特別支援教育の体制と関係機関との連携」
9.5	○盛岡市保育所協議会第3回テーマ別研修 【保健衛生・安全対策2H】	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「保育所における感染予防と嘔吐処理の仕方」
9.18	○保育所協議会 給食グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「食物アレルギー・小児アレルギー・食材チェック表について」等
10.10	○第39回 東北地区教員研修大会	<p>ECEQ 公開保育</p> <p>第4分科会 にじいろこども園（花巻市）</p> <p>第5分科会 専修大学北上幼稚園（北上市）</p> <p>第8分科会 双葉幼稚園（北上市）</p>
10.22	○盛岡市保育所協議会 給食グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「プレコンセプションケア、食育について」
10.28	○盛岡市保育所協議会 公開保育	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園 みどりこども園 保育参観（1時間）
10.28	○令和7年度保育者レベルアップ研修講座 ステップI	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と演習「幼児期における特別支援教育」 ・講義と演習「幼保小接続を踏まえた指導と評価に生かす記録」等
10.29	○盛岡市保育所協議会第5回テーマ別研修 【保護者支援・子育て支援2H】	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「ペアレントトレーニングから学ぶ子育て支援」
11.1	○盛岡市保育所協議会特別事業班体育実技 研修 【幼児教育2H】	<ul style="list-style-type: none"> ・実技「保育に楽しくダンスを取り入れよう」
11.20	○盛岡市保育所協議会第6回テーマ別研修 【食育・アレルギー対応2H】	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「保育所における食育のすすめ方について」
11.20	○盛岡市保育所協議会 給食グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市学校給食センターの施設見学、説明
12.2	○令和7年度ECEQコーディネーター養成 講座IV（東京：市ヶ谷）	<ul style="list-style-type: none"> ・STEP1～5の復習 ・グループワーク
12.24	○学校安全実践力向上セミナー（オンライン 受講） 文科省主催	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「幼稚園・こども園における防犯対策」 ・講義「不審者対応事例を踏まえた防犯対策」等
1.8～9	○令和7年度総合研修会岩手県私こ連主催	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「障がい児保育の実践と私学の役割」 ・講演「乳児期からの発達を促す運動」 ・講演「人材確保が困難な時代における資質向上のあり方」
1.15	○盛岡市保育所協議会 給食グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有と意見交換「食育の取り組み、行事食について」
3.6	◎盛岡ひまわり学園発達支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講演および実践「子ども達はなぜその行動をしているのか」
3.24	○第41回岩私幼こ教員研修大会	<ul style="list-style-type: none"> ・記念講演「主体的に学ぶ保育者の姿とは」 ・ポスター発表 ・幼保小の架け橋プログラム実践発表
3.25	○教育委員会 (岩手県私立幼稚園認定こども園連合会)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観、意見交流 ・入学する園児の個別引継ぎ 等
*	○盛岡地区教員研修会 月1回（全8回）	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとのテーマ 「子どもと共に作り出す環境構成」 「3歳未満児の遊びと生活」

7、情報の発信の状況（公表・公開）

（1）園報の発行：年5回発行。発行部数210部。法人及び園内情報。

送付先は、保護者（105部）、同窓生、関係機関他（105部）

（2）その他の情報発信

幼稚園便り(全世帯)： 10回（保育の様子を写真付きで載せるようにしている）

保育部便り(0・1・2歳児世帯)： 12回（毎月1回発行）

学年便り：年長児クラス19回、年中児クラス13回、年少児クラス13回

給食便り(毎月)、ほけん便り：年9回

県PTA連合会会報：2回、こどもまんなかしんぶん：紙ベース6回、デジタル版4回、

あんふあん：5回

（3）インターネット・ホームページ：幼稚園の沿革及び業務内容の紹介。

園児活動状況の随時紹介 Web お便り 16回、ここにこ園日記 28回発行は好評。

また、業務執行・年度状況の報告（財務状況を含む）を公表。

ホームページアドレス：<https://1907-mkg.com>

おがスマ配信：33回（主に欠席状況、行事等の情報配信）

III 学校評価について

平成19年6月に学校教育法、同年10月に学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表に関する規定が新たに設けられました。当園では、教職員による業務の自己点検・自己評価は、平成20年度から実施しております。

また平成27年度の新制度施行によって、当園は幼保連携単一施設となり、従来の幼稚園のみに設置されていた『学校関係者評価委員会』、及び保育園にのみ設置されていた『苦情解決第三者委員会』を、単一施設として両委員会を設置し、学校関係者評価委員会及び苦情解決第三者委員会を合同で委員会を開催し、本園の運営並びに経過について評価を頂き今後の運営に資することにしております。

なお令和7年度は教職員の職場アンケートに加え、保護者アンケートの実施結果を公表します。

令和7年度学校法人内丸学園幼保連携型認定こども園盛岡幼稚園

学校関係者評価委員会・苦情解決第三者委員会報告

日時；令和8年3月19日（木）午後4時～

場所；C2クラス

○出席者

「学校関係者評価委員」

保護者代表 高橋 麻以子（ふたば会会長）
鈴木 歩美（保育部保護者）
学校評議員代表 高屋 一成 宮手 義和
学識経験者代表 松本 静毅 高橋 眞司
地域住民代表 佐藤 彰二 黒澤 淳子

「苦情解決第三者委員会」

矢作 淳 欠席
高村 和江

「内丸学園盛岡幼稚園」

理事長 坂本 洋
園長 津川 哲二
副園長 吉田 房子 指導保育教諭 舟越 恵子

○会議次第

- 1、開会
- 2、委員のご紹介（自己紹介）
- 3、挨拶 理事長・委員長
- 4、協議と報告 進行； 松本委員長
 - (1) 令和7年度の業務執行報告
 - ・令和7年度 業務運営方針と業務執行報告
 - ・子育て相談報告
 - ・ヒヤリハットと事故報告の集計と考察
 - ・利用者アンケートの集約と考察
 - (2) 令和8年度盛岡幼稚園経営方針と学級編成及び園児数について

以上の報告がなされた。

質問・意見

K 様…子育て相談が1度で済むものと継続して見ていくものはどんなものがあるのか？
父親の相談も多くなってきているのはどういうことか？

(園側) すぐに解決できるものと継続してみなければならぬものがある。継続して見ていくことにより療育につながったケースもある。

育児に参加する父親が増えてきたこともあり父親の相談が多くなってきたものと考えられる。

M 様…娘（年長児）の登園しぶりが2年間続いたが、その間、職員同士で情報共有がされておりました。

S 様…利用者アンケートで保育部より幼稚園部の回答が少ない。不満のある方は回答しないこともあるのかもしれない。

(園側) 今回のアンケートはアプリで行った。1世帯1回ではなく、子どもの人数分回答しなければならなかったことも原因の1つと考えられる。

ほとんどの保護者の方から園の運営に対してご理解を得ているが、そうではない保護者もいると思うので今後も保護者への理解に努めていく。

T 様…定年して思うことがある。園児を死亡させるような事故を起こさずに定年を迎えることができた。通園バス置き去り事故などを聞くと胸が痛む。

当たり前のことなのにどうしてだろう?と思う。ヒヤリハットが役にたつ、それがあつて安心・安全につながる。

仕事が楽しかった。先生方の仕事量は多い。先生方の心に余裕があればいいなと思う。

5、評価

M 様…子どもが安全に過ごせるような配慮がたくさんあつた。

たくさんの方が園の運営に携わっていることがわかつた。

A 様…園に入れて7年目になるが、ヒヤリハット、子育て相談の存在を初めて知つた。

先生方とお話しする中で子どもが社会に関わっていることを知ることができている。

K 様…事故、安心安全は当たり前と思うが、未然に防ぐ努力をしていることがわかつた。

Y 様…医療関係のほうからもハインリッヒの法則を学ぶ。ヒヤリが起きた時には必ず報告することを徹底することが大事。エビペンの話題になったが先生方は誰でも打てるようにした方がいい。

T・S 様…保護者アンケートの結果もすごいこと。

小学校との架け橋に仁王小学校以外の学校も関わっている。進んでいると感じた。仁王小学校も小学校体験を企画し園側に寄り添っている。

S・S 様…熊対策はこれからもお願いしたい。木の実は1年おきなので今年は豊作で町には来ないだろうと人間は思っているが、おいしさを知つた熊は町に来ると予想されている。気を抜かないでやってほしい。

J 様…ヒヤリとしたことを隠さないで職員で共有できている。転んだとかは仕方がないがアレルギーは防げるもの。昨年度に比べるとアレルギーのヒヤリは少なくなった。ヒヤリハットを分類してみるのもいいのでは?

岩銀に熊がでた際の対応が早かつた。

園長・・・皆さんからのご意見は次の年度に生かしていく。

学校関係者評価委員の任期は2年ごとで、8年度から新しくなる。

6、閉会

令和7年度 職場アンケートについて

当園では平成28年度から毎年全職員に対して職場の雰囲気や職場環境及び個人のストレス度をアンケート形式で調査している。それを受けて個人の健康状態の把握や職場環境の改善に努めている。1学期末の調査後、個人面談を行った。

集計結果

1 仕事に関して最も当てはまるものに○をつけてください

(1) 常勤職員と事務・給食

評価基準 1 そうだ 2 まあそうだ 3 ややちがう 4 ちがう

番号	項目	幼稚園部		保育部		事務・給食		各項目毎の平均		昨年度平均
		幼-9名	平均	保-7名	平均	事・給-5名	平均	総数-21名	平均	
1	仕事量はとても多いと感じる	16.5	1.8	14	2	9	1.8	39.5	1.9	1.8
2	職場の仕事の方針に自分の意見が反映できる	17	1.9	13	1.9	10	2	40	1.9	1.9
3	職場の雰囲気は友好的である	16	1.8	10	1.4	10	2	36	1.7	1.9
4	仕事の内容は自分にあっている	20	2.2	13	1.9	9	1.8	42	2	2
5	仕事に満足している	20	2.2	13	1.9	11	2.2	44	2.1	2
6	職場の課題や困ったとき上司に相談できる	15	1.7	11	1.6	10	2	36	1.7	1.7
7	職場の課題や困ったとき同僚に相談できる	14	1.6	10	1.4	8	1.6	32	1.5	1.5
8	必要に応じて有給休暇が取得できる	15.5	1.7	8	1.1	11	2.2	34.5	1.6	1.6

(2) 非常勤職員

評価基準 1 そうだ 2 まあそうだ 3 ややちがう 4 ちがう

番号	項目	幼稚園部		保育部		事務・給食		各項目毎の平均		昨年度平均
		幼-3名	平均	保-3名	平均	事・給-6名	平均	総数-6名	平均	
1	仕事量はとても多いと感じる	8	2.7	8	2.7			16	2.7	2.7
3	職場の雰囲気は友好的である	6	2	6	2			12	2	1.9
4	仕事の内容は自分にあっている	5	1.7	6	2			11	1.8	1.6
5	仕事に満足している	5	1.7	6	2			11	1.8	1.6
6	職場の課題や困ったとき上司に相談できる	5	1.7	5	1.7			10	1.7	1.7
7	職場の課題や困ったとき同僚に相談できる	5	1.7	5	1.7			10	1.7	1.6
8	必要に応じて有給休暇が取得できる	4	1.3	5	1.7			9	1.5	1.3

2 1か月間の自分の体調に関して最も当てはまるものに○をつけてください

(1) 常勤職員と事務・給食

評価基準 1 なかった 2 ときどきあった 3 しばしばあった 4 いつもあった

番号	項目	幼稚園部		保育部		事務・給食		各項目毎の平均		昨年度平均
		幼-9名	平均	保-7名	平均	事・給-5名	平均	総数-21名	平均	
9	疲れることが多い	14	1.9	16	2	15	2	45	2.1	2
10	だるい	13	1.2	15	1.6	13	1.8	41	2	1.5
11	何をするのもおっくうになる事がある	12	1.3	11	1.6	6	1.2	29	1.4	1.4
12	食欲がない	10	1.1	8	1.1	5	1	23	1.1	1.1
13	よく眠れない	12	1.3	10	1.4	6	1.2	28	1.3	1.3

(2) 非常勤職員

評価基準 1 なかった 2 とどきあった 3 しばしばあった 4 いつもあった

番号	項目	幼稚園部		保育部		各項目毎の平均		昨年度平均
		幼-3名	平	保-3名	平均	総数-6名	平	
9	疲れることが多い	8	2.7	3	1	11	1.8	2.6
10	だるい	6	2	3	1	9	1.5	2.3
11	何をするのもおっくうになる事がある	5	1.7	3	1	8	1.3	1.7
12	食欲がない	5	1.7	3	1	8	1.3	1.6
13	よく眠れない	7	3.5	4	1.3	11	1.8	1.9

結果の考察

○「仕事に関して(項目1～8)」の調査は、項目1のみ数値が2以上、他の2～8の項目は2以下であれば良好と判断できる。「1. 仕事量はとて多いと感じる」かの設問では、常勤職員は幼稚園部が1.8、保育部が2.0なのに対し、非常勤は幼稚部及び保育部も2.7であり、常勤職員の負担感が大きいことが分かる。これは、常勤職員に各種行事の企画、立案、実施に加え指導記録整理、報告業務等が集中していることによると考えられる。項目2～8については常勤職員の平均2.1が1つあるが、他は全て2以下であり良好といえる。非常勤職員についても、平均2.2が1つあり他は全て2以下であり良好といえる。ただ、昨年比で見ると2に近い数値の項目も増えていることから、個人面談等も行いながら状況の把握に努めたい。

○「体調に関して(項目9～13)」の調査は数値が平均で1点台であれば良好といえるが、本調査では、2点台が常勤職員に「9 疲れることが多い」「10 だるい」の2項目に見られ、前段「1. 仕事量はとて多いと感じる」との関連が見て取れる。非常勤職員の各項目の数値の平均は昨年に比べプラス方向に推移している。昨年に比べ仕事量に大きな変動がない中での改善傾向であることから、職場環境への適応状況が良好であることも考えられる。

○全体的に見て「仕事量はとて多いと感じる」職員が多いこと等からは、働き方等の改革についてはいっそうの工夫が求められている。

〈報告〉 令和7年度 保護者アンケートの集計結果について

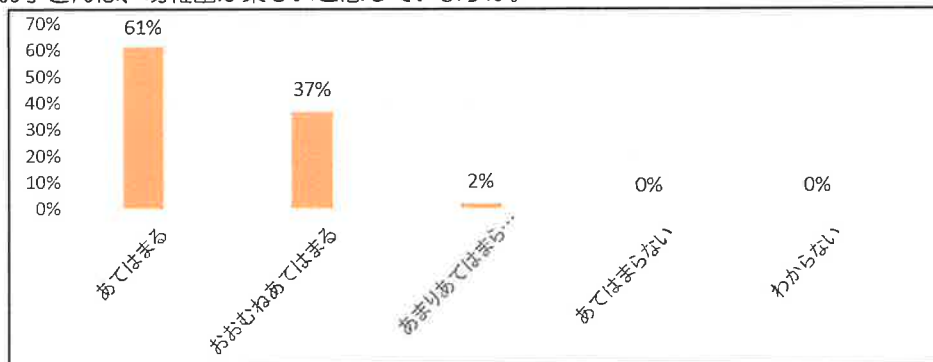
昨年末に保護者の皆様をお願いしたアンケートの集計結果をお知らせいたします。「教育・保育」「職員の対応」「家庭との連携」「子育て」「その他」と多岐にわたる内容でしたが、ご協力いただきありがとうございました。

実施期間： 令和7年12月23日(配信)～令和7年12月30日(回答締切)
 実施形態：

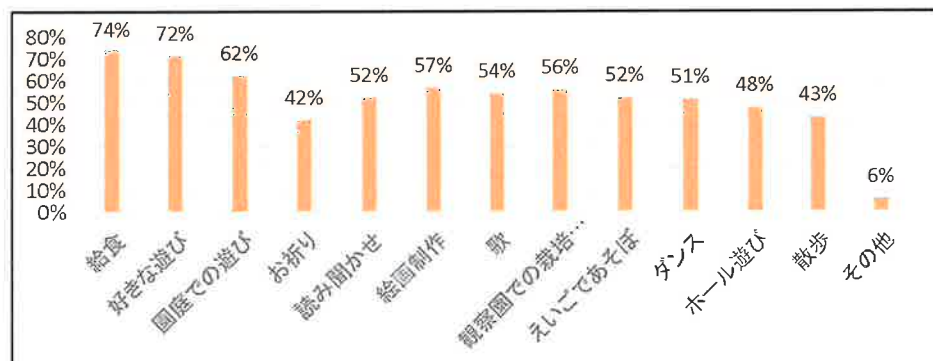
	回答数	在籍数(人)	回答率
保育部	40	41	97.6%
幼稚園部	69	86	80.2%
合計	109	129	84.5%

～教育・保育について～

問1 お子さんは、幼稚園が楽しいと感じていますか。



問2 盛岡幼稚園での教育・保育活動でよいと思われることはなんですか。(複数回答可)



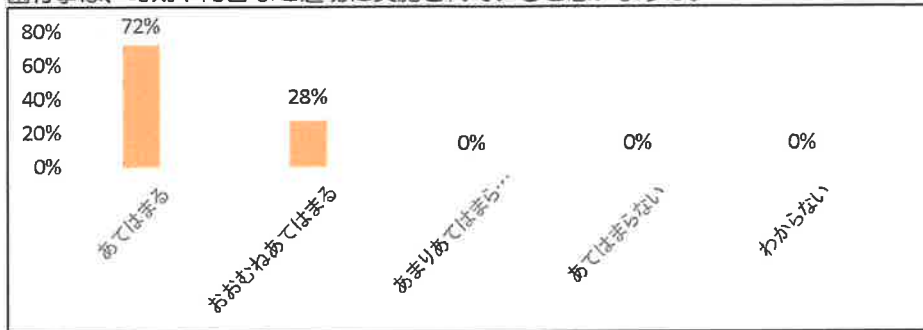
◎その他の回答

・Aクラスお楽しみ会 ・歩き遠足 ・聖誕劇 ・トトロランド ・劇などの発表の場の設定 ・工作づくり ・先生方の連携ができており、子どもの様子を伝えた際にその状況に応じた対応策を示してくれこと ・保護者が参加する「保育参加」

問3 園の教育保育活動で、もう少し充実してほしい内容がありましたらお知らせ下さい。

・英語活動 ・大きなプールで他施設利用も ・楽器演奏 ・他クラスとの交流 ・給食メニュー ・散歩や外遊び(含-社会体験) ・様々な体育活動(側転・逆立ち・器械体操) ・読み書き ・学習発表会 ・親参加行事 ・折り紙・お絵かき

問4 園行事は、時期や内容など適切に実施されていると思いますか。

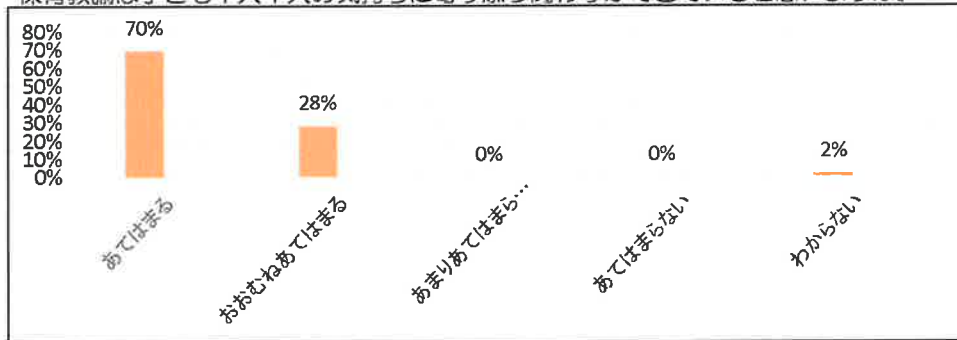


【考察】

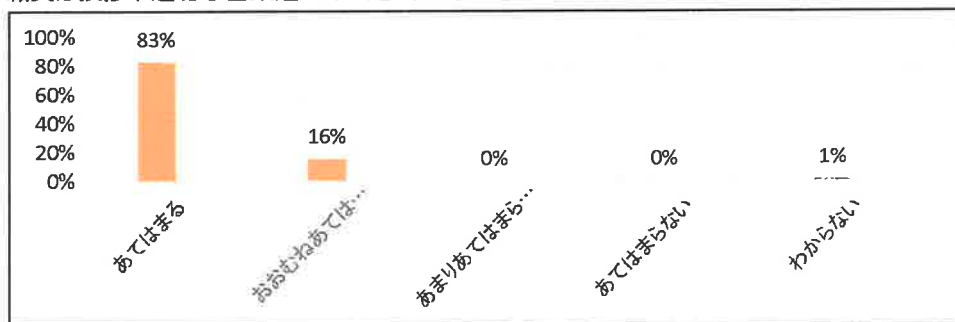
問1及び問4の項目ではほぼ9割超の方から「あてはまる」「おおむねあてはまる」の評価を頂いています。問2の教育・保育活動では7割を超えているのは給食と園庭での遊びですが、他の領域もおおむね5割を超えており、当園の取り組みについてご理解を頂いているものと思います。ただ、幼稚園を楽しんでいると感じていないお子さんもおり、適切な対応を心がけていきたいと思っています。園行事の時期や内容については適切であるとの評価をいただきましたので、より一層内容の充実を努めていきたいと思っています。

～職員・保育教諭について～

問5 保育教諭は子ども1人1人の気持ちに寄り添う関わりができていますか。



問6 職員は挨拶や適切な言葉遣いができていますか。



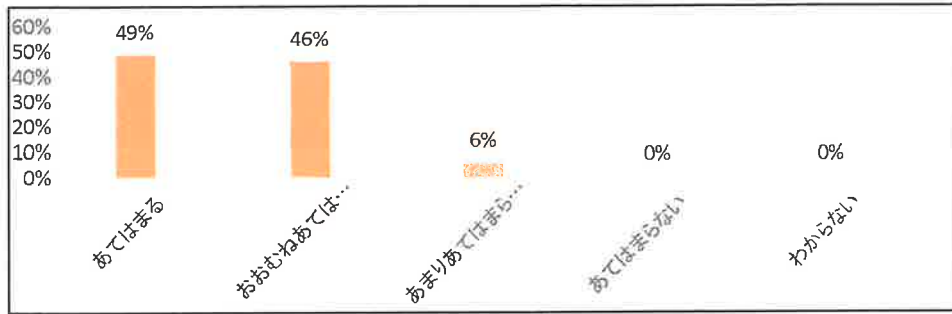
【考察】

問5の項目ではほぼ全員の方から「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」の評価を頂きましたが、「わからない」との評価もあることから、このことに甘えることなく、今後も一人一人のお子さんの気持ちに寄り添った保育・教育ができるよう努めていきたいと思っています。

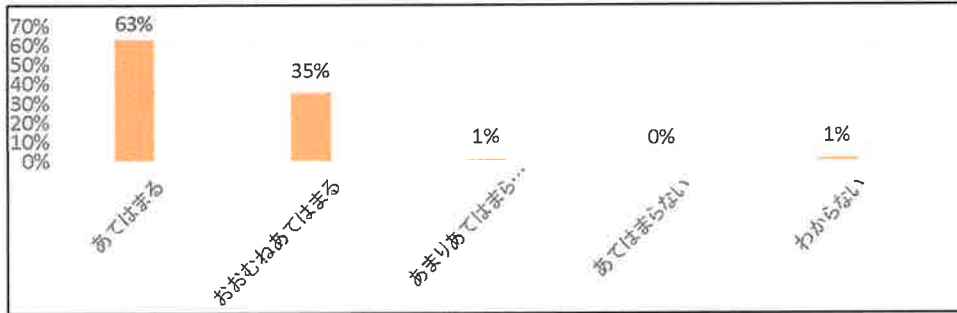
問6の職員の挨拶や適切な言葉遣いができているかの問いについては、こちらもほぼ全員の方から良い評価を頂きましたが、「わからない」との評価もあることから、気持ちの良い挨拶、言葉遣いを一層心がけるように職員間で確認していきたいと思っています。

～ご家庭と幼稚園との連携について～

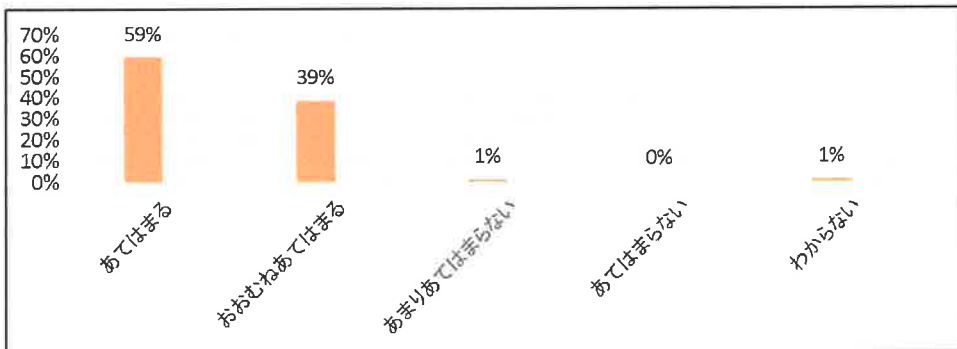
問7 連絡帳（保育部）や、送迎時の保育教諭との会話などを通して、ご家庭での子どもの様子について情報の交換ができますか。



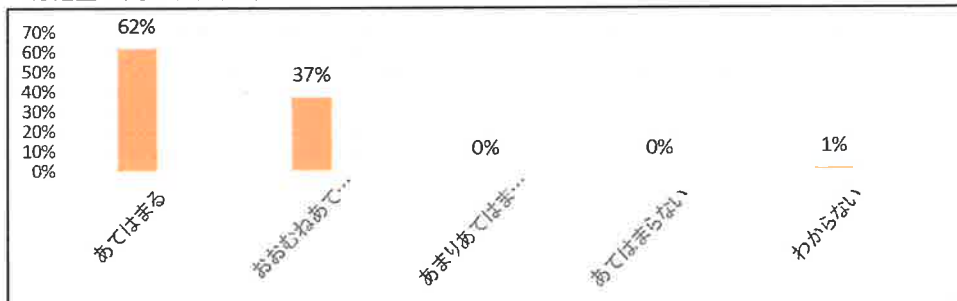
問8 幼稚園やクラスの様子などについて、「園だより」や「クラスだより」、「Webおたより」などを通してお知らせしていますが、それに対して満足されていますか。



問9 幼稚園は、安心して話したり、気軽に相談したりできる雰囲気があると感じられますか。



問10 幼稚園は開かれた施設で、信頼できる園であると思いますか。

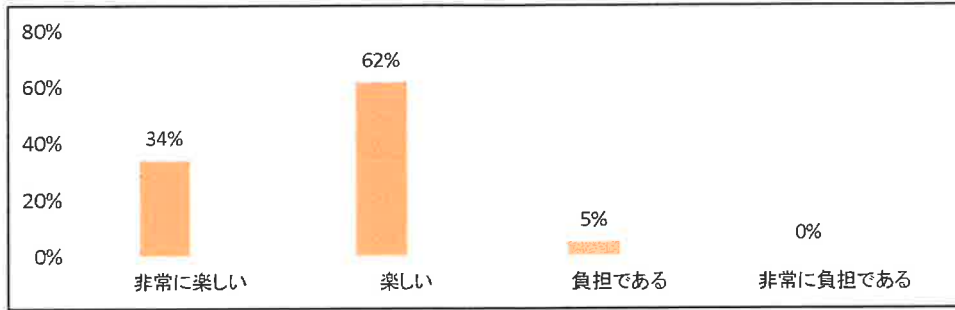


【考察】

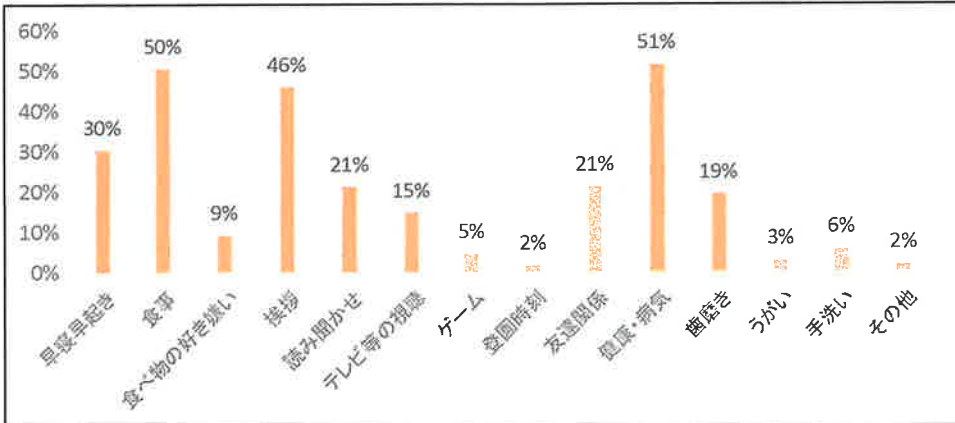
問7～問10については“家庭と園との協働”での教育・保育に努めている当園として、大変嬉しい評価を頂いているのですが、問7の情報交換の項については「あまりあてはまらない」と感じている方が少なからずあり、早急に改善に努めていきたいと思います。ただ、園の方針である気軽に相談できる園、開かれ信頼できる園であるとの評価は嬉しいことです。しかし、100%でないことをしっかり認識しつつ、今後も様々なお知らせを通して園や子ども達の様子をお伝えし、信頼できる園になるよう努力していきます。

～子育てについて～

問11 子育てについて、どのように感じていますか。



問12 ご家庭で、お子さんの育ちに関して最も気を使っている事柄、3つ教えてください。



◎その他の回答

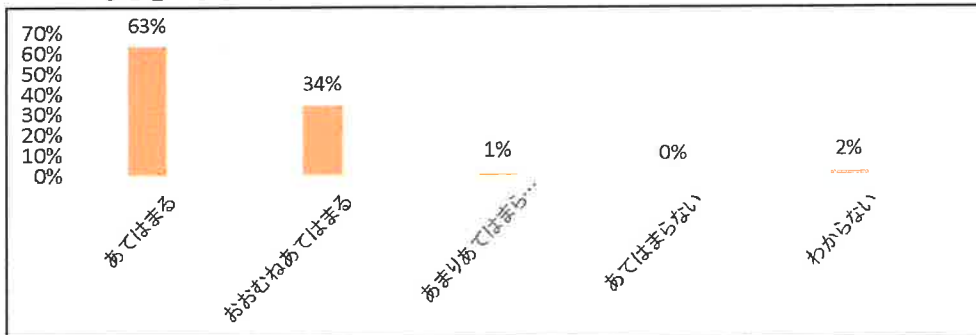
- ・コミュニケーション
- ・できた時、感謝の気持ち、謝りのことを感じた時に直ぐに伝える
- ・トイレトレーニング
- ・なんでもやりたいことにチャレンジすること
- ・生活リズム
- ・便秘気味なこと

【考察】

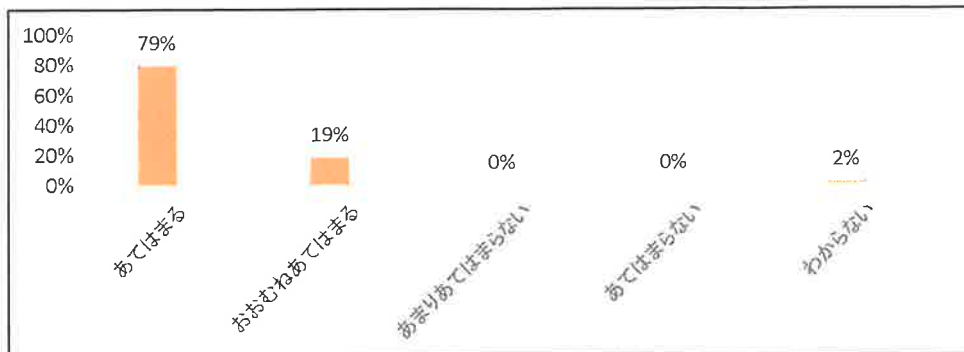
問11は子育てに対して「非常に楽しい」「楽しい」が9割超と多数ですが、「負担である」と感じる方もおられることから、子育ての楽しさや成長していく姿への期待や喜びを保護者に発信したり共有できる機会を設定したり、相談しやすい環境作りをしていきたいと思ひます。問12では食事、健康・病気、そして挨拶に心がけながら子育てしていることがわかりました。当園でも重視しながら教育・保育にあたっている項目であることから、家庭との連携をより一層図りながら進めていきたいと思ひます。

～その他～

問13 園では、自園菜園や給食などを通して食に関する知識や感謝の気持ちが育つ食育を行っていると思ひますか。



問14 園では、避難訓練などが適切に実施され、子どもへの安全指導が行われていますか。



【考察】

問13、問14では9割以上の方から「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」の評価を頂きました。自分たちが育てた野菜を観察したりお世話を通して、植物の生長、食への関心を高め、苦手意識のある野菜への挑戦にも繋がったり、送迎時お家の方と一緒に観察できたこと等も食育に対する良い機会となりました。避難訓練は、想定される様々な危険・危機に備えるべく月に一度行っております。保護者の方には引き渡し訓練に協力頂き感謝いたします。今年度は、熊の出没への対応訓練も加わるなど、避難訓練の重要性は増すばかりであり、今後も計画的に実施していきたいと思っております。

問15 その他、ご意見・ご要望・ご感想

【ご意見・ご要望】

- ・送迎時の車の停車等でマナーが悪い方が散見される。子どもの乗降や道路横断にも危険な様子がある。園からの注意喚起もお願いしたい。
- ・こどもの服装のことで不快な思いをしたことがありました。
- ・担任へ伝えてほしいことがうまく伝わっていないことがあり残念でした。
- ・連絡帳への記載で子どもの園生活の様子が少な目で、面談で知ったこともあり、もっと前に知りたいと思うことがあった。電子化対応もあるのかなと感じた。
- ・面談で、園の様子が聞けると楽しみにしていたが、直してほしいことが多めで残念でした。
- ・子どもが被害にあうことを未然に防ぐため、引き続き交通安全や防災への取り組みをお願いします。
- ・冬は暗くなるのが早く、園前の道路や園玄関までのアプローチが暗くて怖く感じます。照明の追加ができれば安心です。
- ・送迎の時間帯はだれでも園に出入りができるため、防犯面で心配になることがあります。
- ・園からの情報が紙媒体であったり「おがスマ」であったりと様々なので一元化できないかと思っております。行事等も「おがスマ」上にPDF版で表示されるとありがたい。「おがスマ」アンケートは回答するたびにサイトトップに移り忍耐を強いられました。

【感想】

- ・いつも子どもに深く関わっていただき感謝します。日々の活動に関して満足しています。(同様の感想あり)
- ・日々の園生活や行事を通して、子どもの成長を見ることができ嬉しく思っています。家庭でできない経験を経て心身の成長を促していただき感謝します。
- ・避難訓練をしっかりと実施していただき、子どもが災害に対する正しい知識を得るとともに身体でも覚えていることに感謝です。(同様の感想あり)
- ・家庭保育ではできないような教育的な保育をしてくださっていて感謝です。
- ・子育てのなかで気になることがあったら先生方に相談させていただき感謝しています。

【全体の結果について】

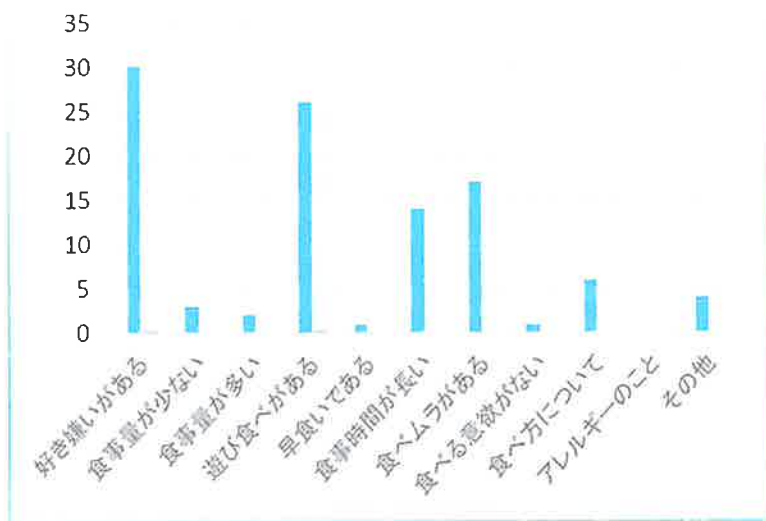
おがーるシステムを使っの2回目のアンケートは回収率は84.5%でした。「おがスマ」アンケートのシステムに課題があり、回答するのに負担をおかけした面がありお詫びいたします。いただいたアンケート結果は園全体で共有し、より良い教育・保育環境づくりや家庭との連携の進め方などに活かしてまいります。また、いただいた「ご意見」や「ご要望」についても、改善に向けた指針とさせていただきます。

園や職員に対して嬉しい「感想」もいただきました。この想いを励ましとし、日々の教育・保育活動の一層の充実を図っていききたいと思います。お忙しい中、アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

保護者アンケートと同時に実施した「給食関係アンケート」の集計結果を次のページから掲載しました。ご覧ください。

1 お子さんの食事で悩んでいること

子どもの食事で悩んでいること



その他の回答の内容(4人)

- 食べ終わったすぐあとに泣くこと。食べ足りないのか…食べ過ぎで戻したこともあり、量の加減が分からず悩んでいる。
- 食事の際の姿勢。
- 肘をつく。お椀を持たずに食べること。

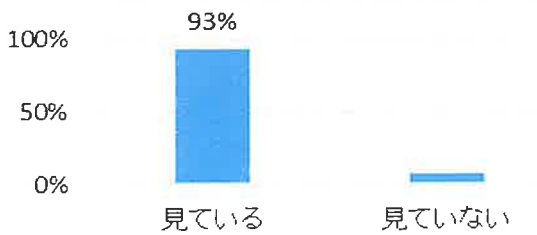
悩みについて、家庭の働きかけは

悩みへの働きかけ

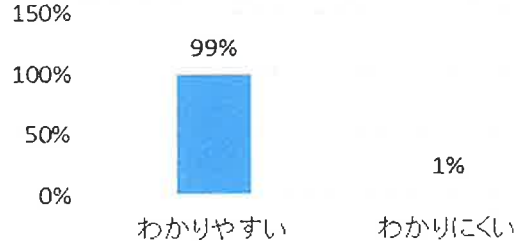


2 幼稚園の「献立表」や「食育だより」について

献立・食育だよりを毎月見ている(%)

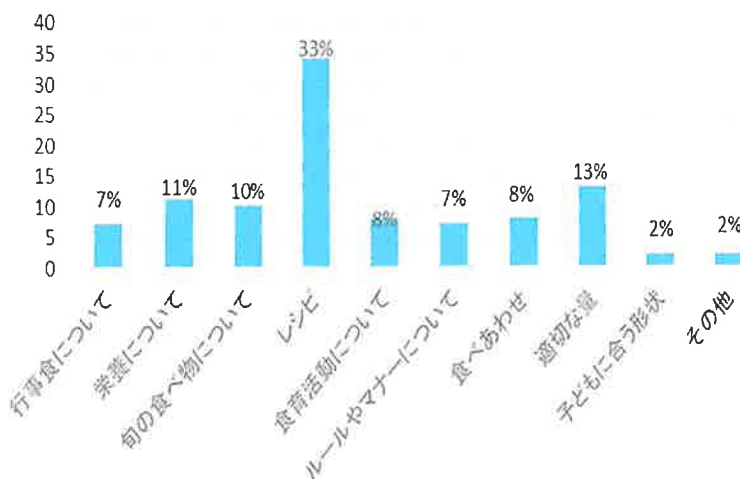


献立・食育だよりの内容について(%)



3 「食育だより」で知りたい内容について

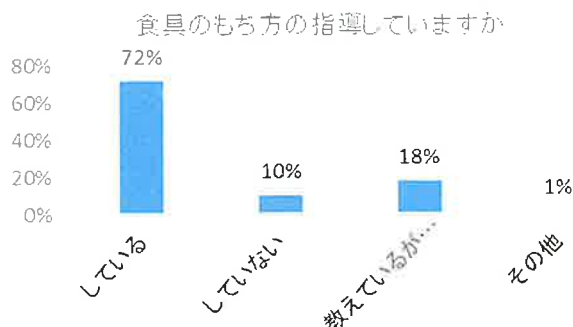
食育だよりで知りたい内容



その他の回答の内容(2人)

- 岩手の郷土食を知る機会もあれば嬉しい。
- 年齢にあった水分量。(夏及び冬)こまめに飲むのは風邪予防や便秘解消に繋がると思う。

4 食具の持ち方を指導していますか



5 給食の「レシピ」で知りたいものは何ですか

- おやつが美味しいと言っているので知りたい。
- ちくわのマヨコーン焼き
- シーザーサラダ
- 簡単朝ごはんレシピ
- 魚のゴマ焼き
- ジュリエンヌスープ
- 12月の誕生日メニュー(ハンバーグが苦手な子が美味しかったと喜んでいました。)
- 彩り納豆(6人)
- 手作りブリッツ
- 麻婆豆腐
- 人気の野菜サラダレシピ
- 大人の食事と同時に作れる短時間レシピ
- みそ汁やサラダ等、野菜の入ったレシピ
- 味付けや調理法を変えると応用できるレシピや食材を上手に回して1週間の献立になるレシピ。

給食への意見や要望について(自由記述)

- いつも給食の提供ありがとうございます。家庭では好き嫌いの食材でも給食なら食べてみようという気持ちになるようでありがたいです。
- いつも家では食べないメニューで栄養を摂らせて頂きありがたく思っています。
- いつもおいしい給食をおかわりしながらいただいているようでありがとうございます。
- いつもおいしい給食をありがとうございます。(同文3名)
- 給食とおやつが楽しみなようで、毎日おかわりしていると聞いています。
- お金がかかっても構いませんので、ご飯は温かいものを食べさせたいです。
- こどもが「給食、おやつがとてもおいしい」と話しています。いつもありがとうございます。
- 栄養士や調理師さんから直接給食についてお話を聞いたり、工夫していることを聞く機会を定期的に設定していただけると、子どもたちへも食の関心が高まってよいと思います。食材あてクイズなどもよいと思います。
- 栄養士さんが参考にしているレシピ本などを教えてください。給食の野菜は美味しいが、親の作った野菜料理は箸が進みません。
- 給食の全体量がわからず、どれくらいの量を食べているか気になります。写真などを見せていただくと、持たせる主食の量も考えやすいので助かります。
- 子が給食が美味しくて大好きといつも言っています。ありがとうございます。
- 毎日「明日のご飯何かなー?」と確認しては、「やったー好きなやつー」と言っています。ありがとうございます。
- 味付けや食感の参考にしたいので、試食会があると嬉しいです。

アンケートへのご協力、並びにご意見、ご要望ありがとうございました。今後も、子ども達の笑顔が広がる給食の提供に心がけたいと思います。

ありがとうございました。

IV 財務の内容（令和7年度）

1、資金収支計算書

収入の部		
科 目	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	7,376,673円	9,214,058円
寄付金収入	273,108〃	614,000〃
補助金収入	162,353,100〃	166,617,631〃
付随事業・収益事業収入	4,635,611〃	7,813,640〃
受取利息・配当金収入	1,094,550〃	2,018,053〃
雑収入	2,873,437〃	3,514,595〃
その他の収入	212,903,104〃	130,197,670〃
資金収入調整勘定	△15,859,000〃	△12,539,701〃
前年度繰越支払資金	41,205,514〃	57,641,951〃
収入の部合計	416,856,097円	365,091,897円
支出の部		
人件費支出	120,572,444円	127,176,608円
教育管理経費支出	27,376,422〃	27,293,310〃
借入金等返済・利息支出	0〃	0〃
施設・設備関係支出	592,240〃	13,349,620〃
資産運用支出	185,698,221〃	112,543,271〃
その他の支出	25,942,700〃	26,692,243〃
資金支出調整勘定	△967,890〃	△1,521,590〃
翌年度繰越支払資金	57,641,951〃	59,558,435〃
支出の部合計	416,856,097円	365,091,897円

2、貸借対照表

資産の部		
固定資産	404,752,999円	431,697,727円
流動資産	73,580,341円	72,469,808円
資産の部合計	478,333,340円	504,167,535円
負債の部		
固定負債	5,323,100円	4,950,000円
流動負債	1,636,397円	7,280,352円
負債の部合計	6,959,497円	12,230,352円
純資産の部		
基本金の部合計	332,730,195円	342,874,254円
繰越収支差額		
翌年度繰越収支差額	138,643,648円	149,062,929円
負債及び純資産の部合計	478,333,340円	504,167,535円

【注】 ・重要な会計方針の変更、該当事項なし。 ・減価償却額の累計額の合計：177,336,912円

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位 円)

科 目	年 度 末
一 資産額	
(一) 基本財産	166,110,442 円
1 有形固定資産	313,478,659 円
1 建物	147,368,217 円
(1) 園舎	933 m ² 147,368,217 円
2 構築物	1,837,939 円
3 教育林	4,284,279 円
4 機器備品	194 点 10,270,090 円
5 図書	212 冊 2,349,917 円
(二) 運用財産	338,057,093 円
1 現金預金	59,558,435 円
(1) 現金	345,655 円
(2) 普通預金	59,212,780 円
2 未収入金	12,539,701 円
3 その他預け金	371,672 円
4 積立金	265,566,285 円
(1) 退職給与引当特定資産	4,900,000 円
(2) 施設設備維持引当特定資産	260,666,285 円
5 その他の固定資産	21,000 円
(1) 出資金	21,000 円
合 計	504,167,535 円
二 負債額	
(一) 固定負債	4,950,000 円
1 退職給与引当金	4,950,000 円
(二) 流動負債	7,280,352 円
1 未払金	2,015,300 円
2 預り金	38,174 円
3 賞与引当金	5,226,878 円
合 計	12,230,352 円